

# 2017年度 TMSナビ ストレスチェックの結果に関する調査②

**TMSナビを導入している企業(医療,福祉除く)の総合健康リスクは、  
厚生労働省の定めた全国平均(100)を下回る！**

先進的に従業員のメンタルヘルス施策に取り組んできた企業努力の効果

(対象者212,795名中、有効回答187,348名)

## 1.導入企業全体の健康リスク

▶ 前回同様、女性の方が男性より総合リスクが良好

集団名	対象者数 (人)	有効回答数 (人)	量・コントロール リスク	職場の支援 リスク	総合リスク
全体	212,795	187,348	101	96	96
男性	161,414	141,487	100	95	95
女性	51,381	45,861	99	90	89

## 2.年代別健康リスク比較

▶ 20代と60代以上の総合リスクが良好で、特に20代の職場の支援リスクが一番良い

年代	対象者数 (人)	有効回答数 (人)	量・コントロール リスク	職場の支援 リスク	総合リスク
20代	40,604	36,043	101	89	89
30代	53,822	47,177	103	95	97
40代	60,433	53,599	102	98	99
50代	44,512	39,140	96	100	96
60代以上	11,534	9,772	83	97	80

## 3.残業時間別健康リスク比較

▶ 残業時間が増えるほど量・コントロールリスク/総合リスクは悪化する傾向

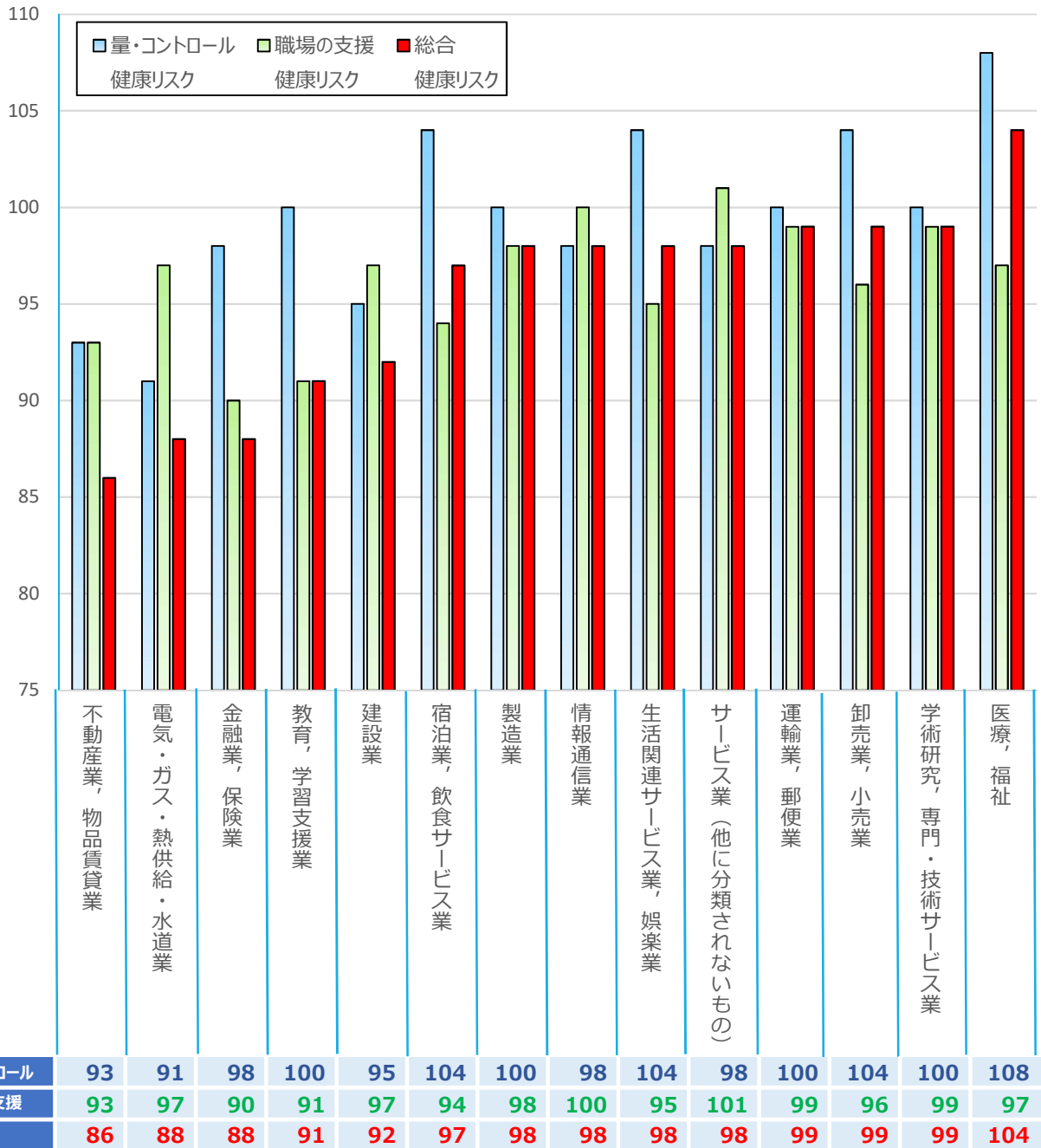
残業時間/月	有効回答数 (人)	量・コントロール リスク	職場の支援 リスク	総合リスク
残業時間 (0~10時間)	50,201	90	97	87
残業時間 (11~20時間)	29,808	99	95	94
残業時間 (21~30時間)	27,698	105	94	98
残業時間 (31~40時間)	19,675	108	94	101
残業時間 (41~45時間)	9,172	111	95	105
残業時間 (46~50時間)	4,327	111	94	104
残業時間 (51時間以上)	6,866	116	97	112



## 4.業種別健康リスク比較

※業種分類は日本標準産業分類を使用

- 2年連続、「医療,福祉」は総合健康リスクが業種別で最も高い
- 2年連続、「不動産業,物品賃貸業」は総合健康リスクが業種別で最も低い
- 量・コントロールの健康リスクが高くとも、職場の支援状況が良好なことによって総合健康リスクを抑えているとみられる構図が多く企業の企業で見受けられる



(注1)本調査はデータ利用の許可を頂いた団体及び企業のデータのみ分析対象としています  
(注2)本調査の数値は『仕事のストレス判定図(職業性ストレス簡易調査票)』により算出しています

